

「やってみよう」が未来をつくる～Be the First Penguin!～

熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN

2025.12
号外

EXTRA NEWS

今号のテーマ 高専大会!ロボコン!プロコン!

- | | | | |
|----------|--------|----------|----------------|
| ●八代キャンパス | 卓球部 | 女子ダブルス | 地区大会優勝 |
| ●熊本キャンパス | 高専ロボコン | 地区大会優勝 | 全国大会ロボコン大賞、準優勝 |
| ●熊本キャンパス | 高専プロコン | 自由部門最優秀賞 | |



Contents

- 01 全国高専大会
- 04 高専ロボコン
- 05 全国高専プロコン
- 06 大会結果一覧

全国大会を通して

人間情報システム工学科2年 前川 眞穂（陸上部）



8月に大分県大分市で開催された全国高専陸上競技大会に、走幅跳で出場しました。昨年は100mとやり投げに出場しましたが、今年は走幅跳に挑戦しました。思うように記録が伸びず、助走のリズムや踏み切りの感覚をつかむのに苦労しました。それでも限られた時間の中で一つ一つの練習に意識を高め、少しずつ“浮く感覚”というのを身に

付けて、良い跳躍ができるようになりました。

全国大会の会場は九州大会と違う雰囲気で、緊張もありましたが、それ以上に「楽しんで跳ぶ」という気持ちが大きかったです。本番では入賞には届きませんでしたが、新たな課題と自分の成長を感じることができました。

2年連続で全国の舞台に立てたことは私にとって大きな財産です。これからも努力を重ね、来期はさらに選手として輝けるように頑張ります。

全国高専大会に出場して

建築社会デザイン工学科1年 吉村 悠斗（水泳部）



私は、鹿児島県の鴨池公園水泳プールで開催された全国高専大会水泳競技に100m・200mの平泳ぎで出場しました。

高専に入学してからは、寮での生活の中でスイミングクラブに通いました。慣れない環境で戸惑いながら

も、日々練習を重ねてきました。

その結果、100m平泳ぎで3位、200m平泳ぎで5位という成績を収めました。どちらのタイムも今年の九州総体で出した自己ベストに近い記録で、新しい環境でも確実に実力がついていることを実感しました。一方で、自分の課題である後半の粘りの無さも目立ちました。200mでは特に、まだ戦えないと感じました。また、100mでも、2位の選手に競り負けて、勝負弱さを感じました。

私の目標はインターハイ出場です。この大会での学びを糧に、結果に慢心せず、常に泳ぎと向き合いながら練習を続けていきたいです。そして、来年はもっと速くなって、この大会に戻ってきたいです。

全国大会への挑戦と学んだこと

制御情報システム工学科4年 嶋田 竜也 (テニス部)



8月末に熊本県で開催された全国高専大会テニス競技に、私はダブルスと団体戦で出場しました。地区大会では団体戦で準優勝、ダブルスでは優勝、ダブルスのペアの清田駿介先輩 (TE5) はシングルス優勝を果たし、男子個人、団体で全国への挑戦でした。地区大会では私は勝ちたいという強い思いで身体が硬くなり、ミスをたくさんしてしまいましたが、先輩や後輩から励ましをもらうことで次第に緊張がとけていき、試合に勝利できました。このとき、支えになってくれる部員がいる心強さを感じ、部員全員で勝利を目指すことの素晴らしさに気づきました。

全国大会では一回戦で敗退をしてしまいましたが、全国で勝ちあがることの難しさとその価値を知ることができました。課題もたくさん見つかったので練習をたくさんして苦手なことを克服します。来年も個人と団体の両方で全国大会出場を目指し、今年の成績を超えることができるようにキャプテンとして部を支えていきたいと思っています。

全国大会を通して感じたことと今後の目標

生物化学システム工学科4年 勇 滯里 (卓球部)

卓球部は、福岡県大牟田市で行われた全国高専大会に出場しました。男子シングルス1名、女子シングルス1名、女子ダブルス1組が出場し、私は女子シングルスと女子ダブルスに出場しました。

シングルスは予選敗退でしたが、初めて全国という大舞台で1人で戦えたことはとても良い経験になりました。ダブルスでは



予選リーグを1位で通過し、準決勝まで進出しましたが、準決勝・3位決定戦ともに敗れ、2年連続のメダル獲得は叶いませんでした。最後の大会だった先輩とメダルを取れなかったことは悔しいですが、最後まで全力で挑めたのでよかったです。どんなときも笑顔で励ましてくれた先輩には感謝の気持ちでいっぱいです。

来年は新しいペアでメダル獲得を目指し、最後の1年間を後悔のないよう全力で取り組みます。また、来年は男女ともに団体戦で全国高専大会に出場できるよう、部員全員で力を合わせて頑張ります。

全国高専大会に参加して

制御情報システム工学科 4年 野 嶋 倖 成 (剣道部)



私は、第60回全国高専大会剣道競技の男子団体戦に出場しました。今年は副キャプテンとしてチームをまとめる役割を担い、互いに声をかけ合い質の高い稽古ができるように部内の雰囲気づくりに努めました。

地区大会では準優勝を果たし、その勢いのまま全国の舞台に臨みました。チャレンジャー精神を胸に、仲間とともに自分たちの剣道を貫くことを意識し、全国大会に挑戦しました。緊張が走る初戦、全員がしっかりと自分の役割を果たし、みごと前年度優勝校を破るという大きな成果を上げました。しかし、2回戦では勝者数同数ながら取得本数1本差という僅差で敗退となりました。

この結果に悔しさは残りましたが、全員で積み重ねた努力が確かに形になったと感じ、全国の強豪と互角に戦えたことが大きな自信となっています。3人の先輩方と出場できる最後の大会で、多くの学びと感動を得ることができました。来年は最上級生として、この経験を生かし、さらに良い結果を目指して挑戦を続けたいと強く思っています。

次への課題を見つけて

建築社会デザイン工学科 2年 宮 村 颯 那 (剣道部)

私は九州高専大会剣道競技女子個人の部で優勝し、8月に福岡県で開催された全国高専大会に出場しました。今年度の大会では、「昨年敗れた相手に勝つこと」と「大会でタイトルを獲得すること」の2つを目標に掲げました。この目標を達成するために、毎日2～3kmのランニングを行ったり、出身中学校の部活動に参加したり、昨年の試合映像を見直して先生と対策や作戦を練るなど、自分にできることをすべて実践しました。多くの方々の協力を得ながら、日々努力を重ねました。その中で、アルバイトや天候不良により練習ができない日もあり、練習できる環境のありがたさを改めて実感しました。大会の結果としては、昨年敗れた相手には勝利することができましたが、準決勝で敗れ、最終的には三位という結果に終わりました。この結果を受けて、自分が成長できた部分もありましたが、気持ちの面や技術面でまだ多くの課題があることを感じました。

今回の経験を次につなげ、さらに良い結果を残せるよう努力していきたいと思っています。そして来年は、団体戦でも全国大会に出場できるよう、頑張っていきます。



高専ロボコン九州沖縄地区大会に参加してみて

機械知能システム工学科3年 松野 大翔（ロボコン部）



私たちは9月28日（日）に福岡県大牟田市で行われた第38回高専ロボコン九州・沖縄地区大会に参加しました。競技課題は「Great high gate」。1台のロボットでボックスを積み上げてゲートを作り、人が乗った台車とともに通過する競技です。

八代キャンパスからはAチーム「建築は旋門凱」、B

チーム「熊門」が参加しました。両チームとも決勝トーナメントに進みましたが、準決勝で敗退しベスト4でした。しかし、Aチームはアイデア賞を受賞、審査員推薦枠で8年連続となる全国大会出場権を勝ち取りました。

私は、Bチームの選手（操縦手）として参加しました。今年度のBチームは3・4年生が中心メンバーでした。夏休みに3年生は研修旅行、4年生はインターンシップで不在になり、開発が難航するなど困難も多くありましたが、仲間とともに出場しベスト4まで進出できたことは必ず今後に向けてのいい経験になったと思います。

最後に、顧問の先生方や技術職員の皆さま、OB、後援会の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。今後とも、協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

高専ロボコン地区大会に参加して

制御情報システム工学科5年 東 和哉（ロボコン部）

9月28日に、福岡県大牟田市にて高専ロボコン九州沖縄地区大会が開催されました。熊本キャンパスロボコン部からは、Aチーム「強奪名声（ロブスター）」、Bチーム「榜門（ひょうもん）」の2チームが参加しました。今年は同キャンパスでの決勝戦が実現し、激戦の末、Aチームが12年ぶりの地区大会優勝、そして2年連続の全国大会出場を決めました。

また、Aチームは全国最高得点の425点を叩き出し、Bチームも395点という高得点を記録しました。

昨年まで選手だった私は、今年は部長として部を支えてきました。私たちは、技術を確実に継承し、安定して結果を残し続ける「強豪校」を目標に掲げています。最近は部員全員が高い意欲を持ち、技術継承も順調に進んできました。それにより、今年は過去最高の出来と操作練度で大会に臨むことができました。今回の結果は、目標である強豪校の姿に近づいてきている証だと感じています。全国大会でも結果を残せるよう、これからもロボットの改良を頑張ります。



プログラミングコンテストに参加して

人間情報システム工学科3年 奥村 晴



「救命講習をより楽しく、スマートに」私たち5人のチームは、胸骨圧迫による救命率向上を目指し、心肺蘇生を楽しく効果的に学ぶシステム「CPR BEAT」を開発しました。高いゲーム性と専門家の意見を取り入れて開発した点が特に評価され、全国高専プログラミングコンテストの自由部門で最優秀賞やチームラボ賞等を頂きました！

自由部門では、システムの目的を適切に定め、完成度高く開発し、実証実験を行い、その魅力を効果的にプレゼン/実演することが求められます。これら多くの工程をクリアできたのは5人のチームワークがあってこそでした。僕自身はソフトウェアのデザインと開発を担当しましたが、夏休みを返上してもギリギリの開発で辛くも楽しい体験でした。チームメンバーと、サポートしていただいた方々、ありがとうございました。

今後もCPR BEATを応援していただける方は、ぜひ公式インスタグラム (@cprbeat) で活動を見ていただければと思います！

高専プロコンを終えて

生物化学システム工学科5年 稲富 将大 (情報システム研究部)

私たちは、第36回全国高等専門学校プログラミングコンテストに、使い終わったペットボトルからプラモデルを制作する「Mr. PET」（自由部門）と、アルゴリズムで「エ。一縁結びの誘導について」を解く競技部門の2チームで出場しました。

私は「Mr. PET」チームでプロジェクト全体のマネジメントとシステムのバックエンド開発を担当しました。このプロジェクトには、多くの方々が手伝いとして参加してくださり、とても心強い一方で、メンバーの調整や進捗管理などマネジメントの難しさを実感する場面も多有りました。しかし、その経験を通じて、社会人として必要なスキルを成長させることができましたと感じています。

結果として、自由部門チームは特別賞と企業賞を受賞し、競技部門チームは準決勝進出を果たしました。

ご指導くださった教職員の皆様、支えてくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。

私は今年で卒業のため最後の高専プロコンとなりますが、これからも情報システム研究部の活躍を応援しています。



国立高等専門学校体育大会等結果一覧

第62回九州沖縄地区高専体育大会

陸上		
▶熊本		
男子 100m	渡辺 瑛人	7位
女子 100m	前川 眞穂	3位
女子 走幅跳	前川 眞穂	2位
▶八代		
男子 400m	水田 悠人	6位
男子 OP1500m	中村 颯太	4位
男子 三段跳	星田 琥太郎	8位
男子 4×400mR	星田 琥太郎 辰巳 竜之進 鶴田 俊平 脇田 龍之介	7位
女子 110mH	寺元 彩乃	5位
女子 800m	早道 美桜	2位
女子 3000m	紫垣 莉音	2位
女子 4×100mR	和田 妃菜乃 寺元 彩乃 坂田 芽生 早道 美桜	3位
卓球		
▶八代		
男子シングルス	花岡 貴優 門司 春輔	準優勝 3位
男子ダブルス	村上 慶起 橋口 蒼生	ベスト8
女子団体	光永 愛実 新富 柚月 入江 泉樹	準優勝
女子シングルス	勇 滯里 光永 愛実 坂田 麻衣子 新富 柚月	準優勝 ベスト8 ベスト8 ベスト8
女子ダブルス	光永 愛実 新富 柚月 勇 滯里 坂田 麻衣子	優勝 準優勝
水泳		
▶熊本		
男子 400m自由形	松寺 正親	6位
男子 100m背泳ぎ	福島 優太	優勝
男子 200m背泳ぎ	福島 優太	準優勝
▶八代		
男子 50m自由形	河野 裕太	準優勝
男子 100m自由形	河野 裕太	5位
男子 100m平泳ぎ	吉村 悠斗 田口 一颯	優勝 7位
男子 200m平泳ぎ	吉村 悠斗	優勝
男子 400mフリーリレー	吉村 悠斗 嶋津 温人 谷嶋 泰成 河野 裕太	7位
男子 400mメドレーリレー	河野 裕太 田口 一颯 吉村 悠斗 嶋津 温人	4位
女子 50m自由形	金光 美咲 牧 遥風	優勝 5位
女子 200mフリーリレー	金光 美咲 村田 光咲 渡邊 みなみ 牧 遥風	4位
バドミントン		
▶熊本		
女子シングルス	木庭 菜々子	ベスト8
女子ダブルス	木庭 菜々子 後藤 希羽	ベスト8
▶八代		
男子団体	メ 亮吾 椎原 章博 向山 大翔 橋本 夏稀 小嶋 光 田崎 蒼唯 中村 大雅	3位
男子シングルス	メ 亮吾 中村 大雅	ベスト8 ベスト8
男子ダブルス	メ 亮吾 田崎 蒼唯	ベスト8

女子団体		準優勝
坂口 奈々 永井 天那 永井 春妃 内川 暖栞 木下 奈々歌 中澤 潤 出口 果歩 古嶋 琉花		
女子ダブルス		ベスト8
坂口 奈々 永井 天那		
バレーボール		
▶八代		
女子		準優勝
今村 莉子 山崎 美空 後藤 優月 鶴田 しおり 古原 日美香 古川 実弥 松本 優里菜 坂本 莉子 烏山 凜子		
柔道		
▶八代		
団体		準優勝
伊佐 魁馬 小畑 勝吾 志水 健祐 山田 悠大朗 山田 聡太		
男子 73kg級	伊佐 魁馬 山田 悠大朗	優勝 準優勝
男子 81kg級	小畑 勝吾	3位
男子無差別級	山田 聡太	優勝
女子 52kg級	志水 愛梨	優勝
女子 57kg級	松本 和夏	優勝
テニス		
▶熊本		
男子団体		準優勝
清田 駿介 嶋田 竜也 辻 遥斗 須崎 智陽 原田 奏汰 村上 修吏 城 太智 高倉 駿祐		
男子シングルス	清田 駿介 嶋田 竜也	優勝 ベスト8
男子ダブルス	清田 駿介 嶋田 竜也 辻 遥斗 原田 奏汰	優勝 ベスト8
▶八代		
女子団体		準優勝
林田 菜央 渡辺 美羽 園田 碧彩 松村 梨世 城 心望 早田 侑里 濱 羽菜花 宮下 惺空		
女子シングルス	城 心望	ベスト8
女子ダブルス	林田 菜央 渡辺 美羽	ベスト8
ソフトテニス		
▶八代		
女子ダブルス		優勝
諏佐 恋 廣瀬 優		
剣道		
▶熊本		
男子団体		準優勝
中條 日向 坂本 裕隆 宮脇 亮瑛 野嶋 倅成 平尾 壮裕 松崎 悠太 東 敬雄		
男子個人	中條 日向	ベスト8
女子団体	佐藤 希滯 井手上 蘭 角田 優良々 小場佐 日和	準優勝
女子個人	井手上 蘭 佐藤 希滯	3位 4位
▶八代		
女子個人	宮村 颯那	優勝
ハンドボール		
▶八代		
女子		3位 (女子リーグ)
佐生 恵美子 竹田 真麻 黒木 心 平田 葵子 山内 花南 吉良 和佳 木村 月乃蘭 櫻井 富稀 松田 祐奈 富永 里奈		

硬式野球		
▶八代		
園田 智駿 坂下 煌明 弓削 翔馬 田代 杏也 大賀 陸 森 秀 川口 航平 定森 祐成 山下 太一 定森 洸成 吉村 颯太 永田 伊吹 佐々木 悠人		3位
サッカー		
▶熊本		
前村 謙介 大山 翔生 田部 雄暉 佐藤 杏祐 植里 伊織 東山 大起 熊谷 龍義 山口 颯人 堺 崇真 竹元 駿 萬谷 正義 萩原 一晴 畠山 楓 藤木 翔太 飯塚 大芽 永野 翔雅 水上 康乃介 宮崎 楓太 坂田 明優 倉橋 瑛太		準優勝
第60回全国高等専門学校体育大会		
水泳		
▶熊本		
男子 100m背泳ぎ	福島 優太	5位
男子 200m背泳ぎ	福島 優太	4位
▶八代		
男子 100m平泳ぎ	吉村 悠斗	3位
男子 200m平泳ぎ	吉村 悠斗	5位
ソフトテニス		
▶八代		
女子団体 (九州沖縄地区選抜チーム)	諏佐 恋 廣田 あい	準優勝
女子ダブルス	諏佐 恋 廣田 あい	ベスト8
バトミントン		
▶八代		
男子団体		準優勝
メ 亮吾 椎原 章博 向山 大翔 橋本 夏稀 小嶋 光 田崎 蒼唯 高沢 颯 中村 大雅		
男子シングルス	メ 亮吾	3位
女子団体	坂口 奈々 永井 天那 永井 春妃 内川 暖栞 木下 奈々歌 中澤 潤 出口 果歩 古嶋 琉花	3位
柔道		
▶八代		
女子 52kg級	志水 愛梨	優勝
女子 57kg級	松本 和夏	3位
剣道		
▶熊本		
男子団体		ベスト8
中條 日向 坂本 裕隆 宮脇 亮瑛 野嶋 倅成 平尾 壮裕 松崎 悠太 東 敬雄		
▶八代		
女子個人	宮村 颯那	3位
第78回熊本県高等学校陸上競技対校選手権大会		
陸上		
▶熊本		
男子 5000m	田中 清雅	7位
男子 110mハードル	小橋 昂央	8位
男子 400mハードル	小橋 昂央	2位
令和7年度第53回熊本県高等学校総合体育大会		
空手道		
▶八代		
女子個人組手	山尾 彩碧	2位
柔道		
▶八代		
女子 52kg級	志水 愛梨	3位
令和7年度熊本県高等学校学年別バドミントン競技大会		
バドミントン		
▶八代		
1年男子ダブルス	中村 大雅 藤嶋 奏太	ベスト8

コンテスト等結果一覧

高専ロボコン2025九州沖縄地区大会
▶熊本
強奪名星(ロブスター)
優勝 松永 蒼真 水篠 太奨 長田 大輝
榜門(ヒョウモン)
準優勝 東 悠煌 中島 陽人 多田 隼 治己
▶八代
建築は旋門凱 (けんちくはせんもんがい)
アイデア賞 桑原 大翔 満永 礼 生駒 真大朗
熊門 (くまもん)
ベスト4 齋藤 広平 高山 蒼 松野 大翔
高専ロボコン2025全国大会
▶熊本
強奪名星(ロブスター)
ロボコン大賞、準優勝 松永 蒼真 水篠 太奨 長田 大輝
▶八代
建築は旋門凱 (けんちくはせんもんがい)
特別協賛賞 (東京エレクトロン) 桑原 大翔 満永 礼 生駒 真大朗
第58回九州沖縄地区英語プレゼンテーションコンテスト
▶八代
プレゼンテーション部門
3位 藤田 真歩
第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト
▶熊本
【自由部門】 CPR BEAT 一命をつなぐ、心肺蘇生訓練リズムゲームー
最優秀賞・文部科学大臣賞・情報処理学会若手奨励賞・電子情報通信学会若手奨励賞・チームラボ株式会社企業賞・NICT賞 奥村 晴 長田 大輝 高木 陽仁 近藤 希陸 藤本 航大
▶八代
【自由部門】 Mr.PET ーペットボトルでプラモデル作りー
特別賞・株式会社NSD企業賞 稲富 将大 土井 恋海 吉田 日向 高見 勇斗 三重 諒真
国際プログラミングロボットコンテスト
▶熊本
M_RC;チーム
2位 脇坂 朔人

第22回全国高専デザインコンペティション
▶八代
【空間デザイン部門】 君マナー君と広げる小さな町ー
最優秀賞 (日本建築家協会会長賞) 江藤 直太郎 田中 丈裕 徳本 豪海 光永 愛実
第4回POLUS木造住宅インターハイ
▶八代
【造形・造作部門】 滝の家 ~断段団談~
奨励賞 大崎 耀人 成松 拓実 林 沙亮
【造形・造作部門】 山とともに~自然と家族、2つのめくもりに囲まれて~
奨励賞 宮村 颯那 城 心望 寺元 彩乃
【造形・造作部門】 思い出の山に住み続ける
奨励賞 木ノ下 咲太
Japan Steel Bridge Competition 2025 (JSBC2025)
▶八代
遊旅橋
【特別賞】日本橋梁建設協会特別賞 片淵 陽心 尾上 翔稀 徳本 豪海 中川 雄登 松崎 嵐 林田 歩夢
Japan AT フォーラム2025
▶熊本
リアルタイムジェスチャー認識システムの開発
最優秀発表賞 金子 結
2025ロボットアイデア甲子園熊本大会
▶熊本
WIRE RUNNER
最優秀賞 長田 大輝
税に関する高校生の作文
▶熊本
身近な税金
菊池税務署長賞 霍田 青空

日本福祉工学会九州支部大会2025
▶熊本
両眼特徴点抽出による覚醒度判定システムの開発
最優秀講演論文賞 前村 一心
iOSアプリによる高齢者向け認知機能検査の開発
優秀発表賞 江口 智朗
MediaPipeとMulti-Layer Perceptronを用いた視線推定システムの構築
優秀発表賞 長田 大知
10th International Conference on "Science of Technology Innovation" STI-GIGAKU2025
▶熊本
Development of a Non-contact Spatial Recognition Device Using Vibration Stimulation
Best Research Presentation Award 黒木 和維



熊本高専だより 2025. EXTRA NEWS 【発行】広報戦略室 令和7年12月

編集後記

今号では、高専大会をはじめ、ロボコン、プロコン等、課外活動の話題をお届けしました。忙しい毎日の中でも、打ち込める何かを見つけて励む学生の姿は輝いていて、そこで得た経験や友人は、何物にも代えられない一生の宝になるのだと思います。本号が、学生たちの成長と努力を感じていただく一助となれば幸いです。



熊本高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL 0965-53-1211

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>

